

平成21年度 新聞記事等一覧 (11月分)

掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等
1 11月2日	日刊工業新聞	4面 未来思考 経営戦略74 「おっさんパワー」の勧め	東京農工大学林教授が、街中で50代-60代の活躍が多く見られるようになり、世の中がフラット化する中、サービス産業にもナレッジ、スキルが「おっさんパワー」として投入されている。若手登用に加えて、「おっさん」活用が新たな経営戦略になると提案。	技術経営研究科 林 志行 教授
2 11月2日	日本経済新聞	9面 フォーカス 国際化学オリンピック出場の高校生を指導 広い視野で見られる人材に	東京農工大学米沢教授が、英国で開催された第41回国際化学オリンピックの日本代表の指導主任を務め、代表者の活躍に対するコメントを紹介。また、第42回大会が来年日本で開催されるが「広い視野で物事を見ることが世界にでていく人材の育成につながる」とのコメントを紹介。	共生科学技術研究院 米沢 宣行 教授
3 11月5日	日本経済新聞	9面 未来を創る工学 ～産業技術立国の実現にむけて～	東京農工大学工学部が、産業技術立国を目指すための工学人材の重要性を、大学と産業界との双方の視点から考えるシンポジウムを紹介する記事において、国立大学53工学系学部長会議構成大学として紹介。	工学部 顔瀬 明伯 工学部長
4 11月6日	読売新聞 (多摩版)	32面 ブルーベリーいつでも収穫 四季再現した部屋 鉢が巡る 東京農工大に来秋研究施設	東京農工大学が、年間を通してブルーベリーが収穫できる研究施設を経済産業省の補助金により建設すること。ブルーベリーの導入経緯及び、萩原教授のコメントを紹介。	共生科学技術研究院 萩原 勲 教授
5 11月7日	日刊工業新聞	13面 国立大法人化で業務の改善進む 環境対応で東大・京大 文科省、08年度評価	東京農工大学が、国立大学法人評価委員会による国立大学などの2008年度業務実績の評価結果において、全機関で確認する共通事項の取り組みが優れている機関として、男女共同参画の活動状況が評価されたと紹介。	学長 小畑 秀文 学長
6 11月7日	読売新聞	17面 大学サイエンスフェスタ	東京農工大学などが、国立科学博物館で開催中の「発見！体験！先端研究@上野の山シリーズ」大学サイエンスフェスタで工学、農学、環境系などに関する最先端の研究内容を紹介説明する大学の1つとして紹介。	大学サイエンスフェスタ 実行委員会委員長 堤 正臣 教授
7 11月10日	日刊工業新聞	26面 産学連携第2ステージ 29 東京農工大学 事業化リーダー育成 多面的提案・交渉力を重視	東京農工大学の産学連携・知的財産センターは、産学連携の担当だけでなく、大学の社会との接点や交渉の窓口も担う。姉妹校と産学連携をベースにした協定を結び、自国企業との関係も相互利用するなど様々な分野において、産学連携の潜在力を人材育成へ波及させるために取り組んでいると紹介。	産学連携知的財産センター 千葉 一裕 センター長 伊藤 伸 教授
8 11月10日	日本経済新聞	35面 TAMA協、就労橋渡し 大学院修了者 3都県の中小 まず臨時職員に 正社員雇用へ誘導	首都圏産業活性化協会(TAMA協会)は、大学院の修士や博士号を持つ人材を期限付きの臨時職員として雇用したうえで、中小企業で働いてもらう事業を始めた。就労希望がある大学院修了者と先端ビジネスを担う人材を求める企業を結びつける」と紹介。	技術経営研究科 古川 勇二 特任教授
9 11月10日	日本経済新聞	16面 検証チーム12人決まる	東京農工大学永井教授が、福知山線脱線事故の報告書漏洩問題をめぐる報告書の検証チームメンバーに決定したことを国土交通省が発表した旨を紹介。	共生科学研究院 永井 正夫 教授
10 11月11日	朝日新聞	15面 事業仕分け きょうから 削れるムダ あぶり出す 教育・食・防衛 第3WG 研究開発・宿泊研修施設 思いやり予算	第3WGで文部科学省 国立大学法人運営費交付金も対象に。	
11 11月11日	広報ふちゅう	6面 官公庁から	東京農工大学児童文化研究会が12/12,13,19,20の4日間、ウィンタースクールを開催すると紹介。	学生活動支援センター 児童文化研究会 笹尾 彰 理事 西山 晴佳 氏
12 11月16日	日刊工業新聞	4面 未来思考 経営戦略75 日々精進の3要素	東京農工大学林教授が、社会人大学院生向けに伝授している日々精進の3つの「鍵」を、「のりしろ」、「予定は未定」、「プロセス重視」とし、プロセス(時間の経過、環境変化)を意識し、再現性のあるエビデンス(証拠のみえる化)の準備が不可欠であると提案。	技術経営研究科 林 志行 教授
13 11月16日	農経 しんぼう	6面 SHITAシンポ 明1月22日、都内で開催	東京農工大学が、日本生物環境工学会植物工場部会が主催する第20回SHITAシンポジウム「技術立国日本の植物工場テクノロジー」(平成22年1月22日開催)のプログラムにおいて経済産業省の平成21年度先進的植物工場施設設備費補助金採択事業内容の1つとして紹介。	農学部 國見 裕久 農学府長
14 11月16日	農経 しんぼう	7 アグロ・イノベーション展特集 シンポで提言報告 産地リレー構築を 加工業務用需要に対応 青果物流通研究会の取り組み	東京農工大学濫澤教授が、青果物生産流通研究会が今秋行ったシンポジウムにおいて、国産野菜の生産流通について概観し、市場システムの構築や加工業務用需要に対応した施策推進などで、活性化を求め、生産流通網の構築、基幹物流システムと集配管理拠点の組み合わせについて展望したと紹介。	共生科学技術研究院 濫澤 栄 教授

掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等
15 11月17日	日刊工業新聞	1面 産業春秋	東京農工大学千葉産官学連携・知的財産センター長が、姉妹校のカルフォルニア大学デービス校は、食料不足に悩むアフリカ諸国に高栄養価作物の知的財産の権利を行使しない懐の深さに感激したことを紹介。また、高い倫理観を持つ科学技術関連人材の育成が両校の連携の柱になっていると紹介。	産官学連携・知的財産センター 千葉 一裕 産官学連携・知的財産センター長
16 11月16日	読売新聞	16面 「楽しい科学」体験して10大学、最先端の研究紹介 東京・上野	東京農工大学が、3期間にわたり国立科学博物館で全国各地の10大学が最先端の研究を紹介する「発見！体験！先端研究@上野の山シリーズ・大学サイエンスフェスタ」の第1期に参加したと紹介。	大学サイエンスフェスタ実行委員会委員長 堤 正臣 教授
17 11月21日	読売新聞	9面 大学の先端研究を紹介 国立科学博物館でイベント	東京農工大学が、国立科学博物館で大学の先端科学研究を分かりやすく紹介する企画展「大学サイエンスフェスタ」において、学生サークルが製作したフォーミュラカーの展示が目を引いたと中学生、高校生記者により紹介。	大学サイエンスフェスタ実行委員会委員長 TUAT Formula (学生サークル) 堤 正臣 教授 飯塚 誠 代表
18 11月23日	日刊工業新聞	4面 未来思考 経営戦略76 オバマ大統領「グローバル」術	東京農工大学林教授が、米国オバマ大統領の来日時のスピーチから、グローバルかつローカル(グローバル)に動くことが、マーケティング戦略で重要な概念であるとコメント。	技術経営研究科 林 志行 教授
19 11月24日	読売新聞	36面 動物行動学の第一人者 日高敏隆氏死去	東京農工大学元運営諮問会議委員で、元教授の日高敏隆氏の訃報	元運営諮問会議委員 日高 敏隆 元教授
20 11月24日	日本経済新聞	34面 動物行動学 第一人者 日高敏隆氏死去	東京農工大学元運営諮問会議委員で、元教授の日高敏隆氏の訃報	元運営諮問会議委員 日高 敏隆 元教授
21 11月24日	KE!O ぐるっとキャンパス探検ガイド 京王・井の頭沿線 みんなの大学 Vol.3 2009.11	31.39 ページ 沿線キャンパス再チェック！ 地球規模の課題に果敢にチャレンジ	東京農工大学が、グローバルな視野で、21世紀の科学技術をリードし、早稲田大学との共同大学院「共同先進健康科学専攻」を開設すること及び、「女性未来育成機構」において、理系研究者を目指す女性研究者の育成、活動支援にむけた環境整備を進めていると紹介。	共同大学院設置推進室 女性未来育成機構 宮浦 千里 室長 宮浦 千里 女性未来育成機構長
22 11月25日	毎日新聞	2面 ドキュメント 鳩山予算 科学技術関連費「政権のメッセージ感じられぬ」 研究者 広がる危機感	政府の行政刷新会議の事業仕分けにおいて、科学技術関連予算の廃止・縮減を求められたことに対する反応や25日の対象となっている主な科学技術関連事業に、国立大運営費交付金が掲載。	

追加記事等 (10月分)

掲載年月日	媒体名		記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等	
1 10月28日	日刊工業新聞	1面	仮想空間で事前検証 外観検査の自動化 実ライン設置作業1/5	東京農工大学日比野客員教授らが、生産システムにおける外観検査工程を、コンピュータシミュレーション上で、事前に構築できる手法を開発した。従来は、現場で調整しながら構築しており、現場での調整を80%近く削減できると紹介。	連携大学院 (機械振興協会技術研究所)	日比野 浩典 客員教授 上野 滋 客員教授 藤崎 大輔 氏